

ヒートアイランド対策技術分野（空冷室外機から発生する顕熱抑制技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成 17 年度に WG で議論した結果、本分野の今後の方向性については以下のとおりまとめられた。

現行の技術分野（空冷室外機からの顕熱抑制技術）の休止

現行の技術分野（空冷室外機からの顕熱抑制技術）については、2 年間で大体の技術が実証を終えたと考えられることから、手数料項目を含む実証試験要領（第 3 版）を策定した上で、実証機関及び技術開発者のニーズが一定程度蓄積するまで実証を休止する。なお、ニーズについては継続的に調査し、必要に応じ、手数料徴収体制において再開する。

新たな対象技術への拡大

ヒートアイランド対策分野は引き続き重要であることから、「空冷室外機からの顕熱抑制技術」以外の新たな対象技術について実証を行う。

新たな対象技術の具体的な検討は今後行うが、高反射性・遮熱塗料、日射遮蔽フィルム等を中心に検討中。

18 年 2 月 17 日	平成 17 年度第 2 回 WG 開催 (新たな対象技術の検討等)
3 月 31 日	実証試験要領（第 3 版）の策定

(WG 検討員名簿は資料 1-4-2 参照)

2. 今後の予定

モデル事業のヒートアイランド対策技術分野に関する検討調査の実施先を入札方式にて選定すべく手続中

平成 18 年 7 ~ 8 月頃第 1 回 WG を開催し、新たな対象技術を検討